



Kitsuki Shigikai  
Dayori

# きつき市議会だより

平成30年11月15日発行

特集

若手グループ  
&  
市議会



きつき大茶会

毎月  
第3土曜  
きつき  
城下町  
アムシ

2018

11

no.50

城下町地区まちづくり協議会のみなさん  
(酔屋の坂下広場にて)

## 特集

# 若手 グループ & 市議会

杵築市の大イベントである「お城まつり」をはじめ、「ふるさとまつり」「城下町マルシェ」など多くの地域イベントを企画開催し、さらに地域の環境整備に努めるなど、地域の活性化に尽力されています。

「自分たちの地域のことは自分たちの力で」と大きな気概を持ちながら活動されている、次世代リーダーの皆さんにお話をお聞きしました。



郷土杵築市への想いを熱く語る各団体代表者の皆さん。私たちのまちは、こうした大きな地域愛を持った、熱き青年たちによって支えられていると感じました。

# 自分たちの地域のことは自分たちの力で



### やりがいを感じるのどんな時ですか

- ・自分たちが企画したイベントが成功したとき。
- ・子どもたちが喜んでいる姿をみたとき。
- ・企画している事業で減少してきた参加者を増やすことができたとき。
- ・事業の成果が見えたとき。
- ・自分たちの楽しんでいる姿を見て、楽しさを感じてもらえるとき。

### どんな点で苦労されていますか

- ・資金不足。
- ・市内全域での活動ができていない。

- ・会員の増強ができない。
- ・会を立ち上げた当初は知名度がなく、協賛を得るのが難しかったこと。

### 今後の取り組みについて

- ・これまでのまちづくり活動を通して得たものを次のステージにつなげる。
- ・新入会員の確保を図る。
- ・起業支援。
- ・もっと女性のちからを活用していきたい。
- ・子どもたちに自慢できるまちにしたい。
- ・楽しさを基本に活動し、杵築市全域で他団体とコラボしたい。



## 若手グループの皆さん

※下段 向かって左より

<p><b>杵築市山香町演劇部</b> 部長 多田 忍さん(42才)</p>	<p><b>城下町地区 まちづくり協議会</b> 会長 下村亮介さん(45才)</p>	<p><b>公益社団法人 杵築青年会議所</b> 副理事長 菊池康洋さん(39才)</p>	<p><b>杵築市商工会青年部</b> 部長 安部喜行さん(36才)</p>
<p>勤務先 株九州セミコンダクター</p>	<p>勤務先 下村時計店(自営)</p>	<p>勤務先 菊池造園代表(自営)</p>	<p>勤務先 安部畳店(自営)</p>
<p>主な活動内容 ・おっとりしゃ山香夏まつり ・リコリス花見会 ・山香ふるさとまつり</p>	<p>主な活動内容 ・城下町の景観整備(竹林等) ・城下町マルシェ ・子ども歴史ガイド</p>	<p>主な活動内容 ・お城まつり ・子ども歴史探検隊 ・サマースクール</p>	<p>主な活動内容 ・城下町健康歩行ラリー ・クリーンアップ運動 ・猪カレーバーガーの開発、販売</p>

※どげ会おおたは当日都合により出席できませんでした。



市議会あるいは行政に対してどんなことを期待しますか

- ・事業成果を評価して、予算を確保していただきたい。
- ・今後も本日のような話し合う機会を設けてもらいたい。
- ・事業に対する補助金が年々減少している。若者に対する投資とみてほしい。
- ・地域おこし協力隊員をまちづくり団体に派遣していただきたい。

他にも色々なお話を伺うことができました。当日は忙しい中、ご協力ありがとうございました。対談の内容を少しでも市政に反映させたいと思っております。

## 一般会計補正予算

8億7,423万5千円を追加  
補正後の予算総額は228億8,781万7千円

## 補正予算の主な事業

ふるさと寄附金特産品贈答事業 …………… 1,093万円  
(KDDIのポータルサイトに新規登録するための経費)

福祉避難所用備蓄物資整備事業 …………… 131万円  
(福祉避難所として協定を締結した施設に避難時に必要な資材を整備するための経費)

畜産生産振興対策事業 …………… 1,000万円  
(畜産の新規就農者が牛舎等を整備する経費)

医薬生産基盤確立プロジェクト事業 …………… 1,032万円  
(山香農業高校跡地での生薬の生産支援にかかる経費)

観光振興事業 …………… 112万円  
(勘定場の坂、杵築城入り口にWi-Fiスポットを増設する経費)

道路維持費 …………… 4,200万円  
(市道の維持補修や支障木等を除去するための経費)

小学校管理費 …………… 3,143万円  
(東小学校の駐車場用地購入及び整備を行うための経費)

災害復旧費 …………… 2億6,829万円  
(7月の西日本豪雨により被災した耕地及び林道の災害復旧にかかる経費)

# 平成30年 第3回定例会

## 9月議会の概要

会期は8月31日から9月20日までの21日間。平成29年度杵築市一般会計及び特別会計・公営企業会計歳入歳出決算認定議案12件、平成30年度一般会計補正予算案や条例改正案22件、同意1件、諮問2件、報告3件が上程され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、認定、同意、承認しました。また議員発議による意見書案1件を可決し閉会いたしました。

## 主 な 議 案

### 条 例

杵築市行政財産使用料条例の一部改正について  
(J・R杵築駅駐車場の月極め契約について、平日のみの利用区分を新たに設定し、土・日・祝日の駐車スペースの確保を図るために改正するもの)

### そ の 他

訴えの提起について  
(市有地上に建物を放置している元委託先に対し、建物の収去及び土地の明け渡し等を求めるもの)

### 発 議

地方財政の充実強化を求める意見書

# 平成30年 第3回定例会 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
<b>[ 市長提出議案 ]</b>		
65	平成 29 年度杵築市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
66	平成 29 年度杵築市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
67	平成 29 年度杵築市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
68	平成 29 年度杵築市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
69	平成 29 年度杵築市地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
70	平成 29 年度杵築市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
71	平成 29 年度杵築市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
72	平成 29 年度杵築市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
73	平成 29 年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
74	平成 29 年度杵築市水道事業会計決算認定について	認定
75	平成 29 年度杵築市工業用水道事業会計決算認定について	認定
76	平成 29 年度杵築市立山香病院事業会計決算認定について	認定
77	平成 30 年度杵築市一般会計補正予算（第 4 号）	可決
78	平成 30 年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決
79	平成 30 年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決
80	平成 30 年度杵築市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	可決
81	平成 30 年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決
82	平成 30 年度杵築市地域包括支援センター事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決
83	平成 30 年度杵築市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決
84	平成 30 年度杵築市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決
85	平成 30 年度杵築市公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決
86	平成 30 年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決
87	平成 30 年度杵築市水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決
88	平成 30 年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第 1 号）	可決
89	杵築市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
90	杵築市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
91	杵築市税特別措置条例の一部改正について	可決
92	杵築市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
93	杵築市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
94	杵築市簡易水道事業設置条例の一部改正について	可決
95	杵築市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部改正について	可決
96	訴えの提起について	可決
97	市道の路線認定について	可決
19	専決処分の承認を求めることについて（平成 30 年度杵築市一般会計補正予算（第 2 号））	承認
20	専決処分の承認を求めることについて（平成 30 年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第 1 号））	承認
21	専決処分の承認を求めることについて（平成 30 年度杵築市一般会計補正予算（第 3 号））	承認
22	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について	報告
23	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について	報告
24	専決処分の報告について	報告
25	専決処分の報告について	報告
<b>[ 追加議案 ]</b>		
98	平成 30 年度杵築市水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決
99	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意
2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
3	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
<b>[ 議員提出議案 ]</b>		
4	地方財政の充実強化を求める意見書	可決
<b>[ 付議事件 ]</b>		
	閉会中各委員会の継続審査に関する件	可決
	議員派遣の件	可決
<b>[ 請願陳情 ]</b>		
2	藤ノ川地区の排水路の設置について	継続
7	平山区内道路の市道編入について	採択
8	林道鹿鳴越線の改良について	採択

# 一般質問

# Q & A



平成30年第3回市議会定例会では、9月5日・6日・7日の3日間にわたり、一般質問が行われ、14人の議員が市政全般について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



ひじゃ  
おさむ  
泥谷 修議員

国道213号通行車両の減少  
対策について

**議員** 3年前と同じ塩屋インターで再度交通量の調査を行なった。その結果、上下線の交通量とも空港道路が58%、213号が42%であった。概ね6割が空港道路、4割が213号を通行していると言える。空港道路無料化後既に8年が経過し、213号沿線の事業所に大きな影響が出ているが、それについてどう考えているか。

**商工観光課長** 大分空港道路の無料化以降、国道213号の交通量が減り、商品が売れなくなっただという声を聞く。

**議員** 空港道路の無料化は大分県の施策であり、それにより杵築市が大きな打撃を被っている。こういう213号沿線の現状を、市長が直接知事に伝えてもらいたい。

乗合タクシーの通行内容の見直しについて

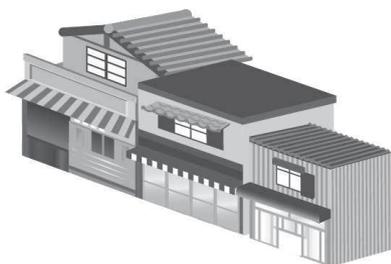
**議員** 市の中心部の少し手前の病院は多くの高齢者が利用するので、乗合タクシーの停留所に追加してもらいたい。

**政策推進課長** 利用者ニーズに応えられるよう民間事業者と協議を行いたい。

商店街のにぎわいの創出について

**議員** 空き家となった武家屋敷等を活用した宿泊施設は出来ないか。

**商工観光課長** 重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建築物で、空家となっているのは14棟程度ある。先進事例を参考にし、調査研究を行いたい。





わたなべ ゆうじ  
渡辺 雄爾議員

### スクールバスの運行について

**議員** 上小学校校区の児童数が増え、補助席を使わざるを得ない状況に加え、1時間30分以上の乗車が予想されるが。

**教育総務課長** 補助席を極力使用しないよう、また乗車時間を短縮するため、1コースで運行しているのを2コースに見直しを行う。

**議員** 現状1時間近くスクールバスが運行されているが低学年児には負担が大きすぎる。早急な改善が必要と思われるが。

**市長** 小学校1年生がトイレを我慢しているとか、酔ったり、気分が悪くなった時どういうケアが必要なのか、教育委員会の職員に一度同乗してもらう。保護者のみなさんが子どもを任せるとはどういうのが一番いいのか、子どもたちの状況や保護者の話をしっかり聞いて政策に盛り込みたい。

### 学校体育について

**議員** 裸足、または足袋を履かせての授業は考えられないか。

**学校教育課長** 現在、運動会等では裸足で走る児童はいない。昔に比べてシューズの開発が進んでいるので、靴を履いているほうが滑りにくくケガの防止になる。

**議員** 足指、親指を踏ん張って体育授業をやるのは成果があるのでは。

**市長** 足の指が使えるというのはお年寄りから子どもまで全てにわたり健康に良い。特に、今成長過程の子どもにとって非常に良いという実証実験もあるようなので、教育委員会と検証結果を踏まえながら実施していければ。

### 工業団地について

**議員** 速見第2工業団地は土砂埋められているが早期の団地造成はできないか。

**商工観光課長** 正式な工業団地として企業に分譲するためには開発許可が必要であり、団地内の道路や水道などの整備も必要になる。県の工事で発生した土砂を搬入してもらっている状況で引き続き県と協議しながら企業誘致に向け努力したい。

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



あべ なおかず  
阿部長夫議員

### 地籍調査について

**議員** 地籍調査の目的は。

**農業委員会事務局長** 面積、境界を明確にし、土地取引、各種事業の円滑な推進に寄与できる。また、万一の災害の場合にも境界を正確に復元でき、災害復旧の迅速化が可能になる。また、課税の適正化、公平化を図ることができる。

**議員** 現在の進捗状況は。

**農業委員会事務局長** 大田地域は完了している、杵築は51.8%、山香は56.25%である。

**議員** あとどれくらい年数がかかるか。

**農業委員会事務局長** 杵築は23年、山香は47年必要である。

### 公衆トイレについて

**議員** 現在、公衆トイレは何ヶ所あるのか、それぞれの課が管理しているのか。

**財政課長** 単独の公衆トイレは56ヶ所。地域別では、杵築地域27ヶ所、山香地域19ヶ所、大田地域10ヶ所。また、建設課が

20ヶ所、文化スポーツ振興課9ヶ所、大田振興課9ヶ所、山香振興課7ヶ所、商工観光課4ヶ所でそれぞれ管理している。

**議員** トイレの管理を一元化できないか。

**財政課長** 一部で集約を行なっている。今後検討して行く。

**議員** 城山入口の中央病院側のトイレと若栄屋側のトイレが古いが改修計画は。

**財政課長** 老朽化が進んでおり時代にそぐわない状態であると認識している。新年度予算に向けて検討する。

### 守江湾の護岸について

**議員** 守江湾の整備された護岸の延長と、建設してからの経過年数は。

**建設課長** 護岸の延長は7.6km経過年数は、約40年から60年経過している。

**議員** 八坂川河口から錦江橋までの堤防は何年ぐらい経つか。

**建設課長** 完成してから70年以上経過している。

**議員** 堤防の老朽化、痛みが激しいが改修計画は。

**建設課長** 毎年別府土木事務所に要望書を出しているが、事業化には至っていない。

**議員** 大災害の被害に遭わないように、早く事業化できるように、強く県に要望してもいいか。



加来 喬議員

人材育成や人口増のための所得税の取組みについて

**議員** 医療、介護、教育、保育の現場で雇用条件の格差による人材不足が起こり、技術の継承や人材育成が困難な状況にある。人口流出や過疎化問題の解決には、所得増や雇用環境の改善が不可欠だ。

**議員** 介護従事者育成のため給与補助等を行う考えは。

**子ども子育て支援課長** 独自補助は行わず国の制度を活用する。

**議員** 公共サービス従事者の賃金引き上げのために公契約条例を制定すべきでは。

**財政課長** 全国で18団体が制定。県内はない。限られた取り組みなので他団体の動向を注視したい。

**議員** 好評だった住宅リフォーム助成制度を復活させては。

**建設課長** 県事業があるので復活しない。

**議員** 市内業者から、最低賃金

引き上げは経営に影響を与える  
と聞いた。賃金補助などの支援  
を行う考えは。

**商工観光課長** 大分県の最低賃金は10月から762円になる。市は信用保証料の補助や新規事業支援策を行っている。

**議員** これでは間に合わない。市長として、人材不足、後継者不足、技術者が育たない状況を解決するため、独自の対策を取る考えは。

**市長** 給与と雇用環境の改善以外に、安心して働いたり子育てができるかという、核心を突いた話と思う。市単独では困難だが、公契約の問題は業者と勉強会をしたり、介護の人材難も現場に行つて話を聞くなど、お金をそうかけなくてもシステムを少し変えれば十分できる事もあると思う。提案については、現場で調査や意見を伺う形で進めたい。



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



小春 稔議員

吉田町（現宇和島市）の災害支援について

**議員** 吉田町は今回の西日本豪雨により、柑橘園に甚大な被害にあった。杵築市には多くの方が吉田町より入植され、長い間行政としても交流が続いた。市柑橘研究会としても義援金を送った。市としてどんな対応をしてきたのか。

**総務課長** 7月17日から7月23日にかけて職員と給水車を派遣し、旧町民の方より喜ばれた。

轟地蔵の駐車場整備について

**議員** 近くの地権者より駐車場にと用地の提供を頂いた。高齢者で早くその完成した駐車場を見たいとも言っており、このまま先延ばしする事があってはならないと思う。早い時期の着手をお願いしたい。

**商工観光課長** 新年度予算で検討していく。

福祉センターの照明について

**議員** 今回のナイターソフトボール大会で照明が暗くてボールが見えにくいとの声が多く聞かれた。また、けが人も出た。一度工事を行ったが、再度調査し球技に適合した照明にすべきではないか。

**健康長寿あんしん課長** 今回測定した結果、場所によって差が見られた。さらに細かく照度の調査を行い利用目的に対応できる対策をとりたい。

土地改良区内（鍋倉、石山）の畑地荒廃対策について

**議員** 土地改良区内（鍋倉、石山）の荒廃が多く見られる。畑地の再整備を進めるべきでないか。

**農林課長** 両工区で47haが耕作されていない。新規就農者の育成や企業参入等を進めたい。安心して参入できる適地適作に徹した品目の選定や国・県の補助事業を活用して、自己負担を軽減し不安をなくすサポートやマーケット動向等、県やJAとも連携して事業を推進したい。



あべ もとなり  
阿部 素也議員

### 市社会福祉協議会について

**議員** 市との関係は。

**福祉推進課長** 市は監督庁。補助金の交付先であり、市の事業の委託先でもある。

**議員** 直近の決算状況は。

**福祉推進課長** 昨年度までの5年間で1億4,500万円の赤字。

**議員** 市の対応は。

**福祉推進課長** 改善計画をつくる様に指導した。福祉事業に精通した職員を入れて計画を実行中である。

**議員** 民間の事業所と比べて、経営感覚が鈍っているのでは。

**福祉推進課長** 利益を追求する団体ではないが、介護保険制度の改正・報酬の減額に対応が遅れたことは反省すべき点。

**議員** その責任の所在は。

**福祉推進課長** 理事会、評議会、事務局それぞれにある。

**議員** 最後は市長の責任だと考える。

**議員** どのような改善計画なのか。

**福祉推進課長** ケアマネージャーを削減、訪問介護事業所の閉鎖、デイサービス事業の職員削減、山香・大田支所の廃止など。

**議員** 採算は合わないが必要なサービスもある。そういったものには市からお金を出しても社協にお願する。それが本来の姿だと考える。

### 馬上金山について

**議員** 歴史的、文化的な価値についてどう捉えているか。

**文化・スポーツ振興課長** 山香の発展の歴史を語るうえで重要だと考えている。

**議員** 県には資料があるようだ。地元としても調査に取り組めないか。

**市長** 資料の収集から始めたい。それを保存・研究し、これを伝えていきたい。

### その他の質問

- ・福祉施設の避難について
- ・立地適正化計画について
- ・農作物の渇水対策について

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



にのみやけんたろう  
二宮健太郎議員

### 地域おこし協力隊をもっと身近に

**議員** 杵築市の取り組みは

**協働のまちづくり課長** 平成27年度より制度導入、移住促進、農業法人の支援、外国語案内、英語初等教育の支援、地域振興などの分野で活動を行った。現在7人が着任している。

**議員** 地域との交流はあるのか。

**協働のまちづくり課長** 杵築天神祭りの神輿の担ぎ手としての参加や、ドローン体験教室の開催、少年サッカーの指導や竹切ボランティア、清掃活動に積極的に参加するなど少しずつではあるが交流を深めている。

**議員** 任期満了後のサポートは。

**協働のまちづくり課長** これまで任期を終了した隊員6名のうち定住者は4名。どの隊員も地域との交流は続いている。

**議員** 今後の展開は。

**協働のまちづくり課長** 今後空き家バンク登録の増と移住促進、農業生産者への作業支援な

ど地域活動に従事できる人材を確保し、支援していく。

### 農業後継者の人材育成と支援について

**議員** 市内の農業生産者の状況は。

**農林課長** 市内の農家数は2127戸。高齢化が進んでおり70歳以上が50%、60代が31%、50代が11%、40代が3.6%、40歳以下が4.6%で、このまま進めば農家がなくなる心配がある。

**議員** 具体的な政策は。

**農林課長** 耕作放棄地などを集積して、企業参入や農業法人に規模拡大していただく。また農福連携の雇用体制で法人を育てていくことが重要になる。

**議員** 市内の農業後継者を育てて増やす政策を。

**農林課長** 消費者のニーズを捉えて、マーケットインの農産物を供給できるよう水田の畑地化や企業参入などを進めたい。また農作業の委託会社と連携して人手不足の解消をし、農業団体、企業、国や県と協力しながら政策を進めていきたい。



ふじもと しろ  
藤本 治郎議員

### 世界農業遺産について

**議員** 認定後の状況と成果は。

**農林課長** 平成25年に認定され、ため池データベース・クヌギ林マップ等に取り組んだ。米コンクールでは国際コンクールに20点程応募するが入賞無し。七島蘭工芸塾では4年間で2,400万円補助、昨年の売り上げは約100万円程である。全国的にも認知度は低く十分なPRはできていない。

**議員** 近隣自治体との連携は。

**農林課長** 世界農業遺産推進室を中心に関係市町村と連携していく。

**商工観光課長** 豊の国千年ロマン観光圏では、世界農業遺産関係との連携事業は無いので提案していききたい。

**議員** 今後の取組みについて。

**農林課長** 庁内の連携でニュースポットの整備や教育旅行等推進する。

**市長** 隣接する市町村との連携を締結させながら推進していく。

### 行政としての災害時対応について

**議員** 災害発生時の住民の安否確認の方法は。

**危機管理課長** 把握のルールは確立していない、早急に策定したい。

**議員** 行政の業務継続計画(BCP)の推進状況は。

**危機管理課長** 平成29年度に策定すると答弁したが、できていない。今年度中に策定したいと考える。

**議員** 魚町・据場・城山3区からの樋門改修と谷川ポンプの排水先の変更要望は。

**上下水道課長** 谷川ポンプ場は15年前に設置した。当時は津波の意識が低く、流下能力を重視していたと思う、樋門は県の管理であり、市として強く要望していく。

**議員** 住民への防災教育は。

**危機管理課長** 各区の防災組織からの要請に対応、今後は防災士と協働で地域教育を推進する。

**議員** 地域や学校教育の中でも、防災教育を徹底し「災害被害者ゼロ」を目指してもらいたい。

い。

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



たはら くにあき  
田原 祐二議員

### 大学の誘致について

**議員** 「教育と文化の薫る杵築」でありながら特色を生かす教育機関がない。杵築をアピールすることも含め、大学を誘致すべきと考える。事務員等の採用により雇用の拡大や、若者の地元定着により人口減少対策にもなると思うが、市の考えは。

**政策推進課長** 人口減少の歯止めや地域活性化の起爆剤として大学誘致の推進は一つの施策と考える。しかし、若者の人口が大幅に減少する中、大学側は健全経営のため、都心回帰や閉校を相次いで行っている。また、建設費等の助成など多額な先行投資が必要となるので、誘致は厳しいと考える。

**議員** 人材を育成し、多くの知見を持つ大学は必要だと思う。財政面もあるが、将来を見据えて前向きに検討願いたい。

### 通学路の安全対策について

**議員** 大阪府高槻市の小学校でブロック塀の下敷きとなり、女子児童が亡くなった事故を踏まえて、通学路・学校敷地内において、危険だと思われる箇所については早急に対応して欲しい。どのような状況か。

**学校教育課長** 学校敷地内に危険だと思われるブロック塀があつた杵築幼稚園・杵築小学校・豊洋小学校・杵築中学校については、夏休み中に撤去作業をしている。通学路においては、各学校に保護者の協力を得て通学路の点検をし、学校からの報告に基づき、学校教育課、建設課、危機管理課、杵築日出警察署、別府土木事務所により合同点検を実施している。

### その他の質問

- ・空き家の解体費用について
- ・主要公共施設の利便性について
- ・支障木による事故防止について
- ・病院の宿泊施設について
- ・交通手段について



いわお いくお  
岩尾 育郎議員

### 浄水場改築事業について

**議員** 本年度当初予算では工事費が計上され、いよいよ着工する予定であったものが、先般6月議会の直前に事業の見直しが発表された。この経緯は。

**上下水道課長** このまま事業を進めた場合、新浄水場の建設費と老朽管の更新等で多額の経費が想定され、使用料の大幅な値上げが必要となるため見直しを判断した。

**議員** 大幅な値上げとはどの程度か。

**上下水道課長** 浄水場の建設だけで約1.5倍。老朽管を含めると約2倍となる。

**議員** すでに実施設計はできているが、その金額と発注時期は。

**上下水道課長** 金額は1億2千2百万で、28年8月に契約した。

**議員** 見直しの一番大きな理由は水道料金の大幅な値上げということだが、これについては実施設計の発注前である28年5

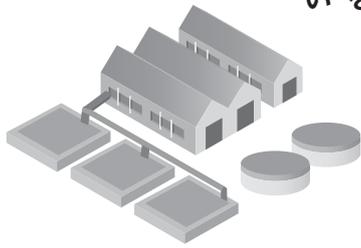
月に、監査委員から、このまま事業を推進したら大幅な水道料の値上げになることが指摘されている。この時点で何らの検討もされなかったのか。

**市長** 当時は新しい浄水場を作るということでも事業費をいかに圧縮するかということしか考えていなかった。老朽管のことは全く考えていなかった。

**議員** 監査委員の指摘は市長の耳に入っていなかったのか。

**市長** 今年度になってこのままでは大幅な値上げになるということを聞き、見直しを判断した。

**議員** このような大事な報告が市長の耳に入らないような風通しの悪い組織になっているのか。すでに1億2千万がどぶに捨てられたような状況になっている。見直しに当たっては、市民に胸を張って報告できるような改修計画を作ってもらいたい。



## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ありた しょうじ  
有田 昭二議員

### 八坂川改修工事について

**議員** 八坂川改修工事の現状をどのように認識しているか。また工事が完成すると思っているか。

**建設課長** 川南用水取り入れ口より妙見橋まで事業化に向けた調査、測量に着手している。改修したいと考えている。

**議員** 八坂川住民の中には、災害が発生することを認識していない方がいる。改修工事の早期完成を啓発するのは、執行部の範疇ではないか。改修工事がストップする可能性が高いと思われる。約100億円の予算がつこうとしているがそれを捨てるのか。執行部の責任放棄だと思う。プロ意識をもって対応してほしいがどうか。

### 立地適正化計画について

**議員** 立地適正化計画はどうなっているのか。

**政策推進課長** 今年度内に作成、公表し、計画の写しを県に送付したい。

**議員** 立地適正化計画と八坂川改修工事の関係は。

**政策推進課長** 八坂川沿線で被害が発生する可能性が高ければ区域から除外する。

**議員** 改修工事がストップすれば、立地適正化計画がストップすると理解してよいか。

**政策推進課長** 危険区域になれば、除外するという形で協議したい。

### 浄水場について

**議員** 現浄水場は部分的に盛土の上に造られ、近くは急傾斜地崩壊危険個所に指定されている。災害が発生すれば浄水場は全滅するし、水道は供給することができなくなる。それらを念頭において検討したらどうか。

**上下水道課長** 十分検討したい。

**議員** 八坂川の上流水を水源にしているが、あまり綺麗とは思わない。また世界中の水道水の中に微小プラスチック、マイクロプラスチックが入っているというところで問題になっている。そういうことを解決するため、ポーリングをして水源確保したらどうか。

**上下水道課長** 水源全てを地下水に依存することはリスクが高いが、提案を十分考慮して検討する。

### 山香病院建て替えについて

**議員** 山香病院は三次救急医療に特化した病院にしたらどうか。

**医療介護連携課長** 医療行政の動向など見極めながら、経営形態、規模、機能について検討していく。

### 市長の政治姿勢について

**議員** 市長の市に対してのビジョン、ポリシーは。

**市長** 安全に、安心に、そして健康で暮らせる杵築市に向けて頑張っていく。



おの よしみ  
小野 義美議員

### 防災士について

**議員** 市防災士協議会の発足から現状は。

**危機管理課長** 平成26年154名でスタートし現在350名となっている。

**議員** 市として防災士へ期待する活動は。

**危機管理課長** 防災訓練の取組「避難勧告」発令時には避難の呼びかけ、避難所の運営に携わってもらいたい。

**議員** 防災士の資格取得推進は。

**危機管理課長** 今防災士が一人もいない行政区がまだ42区あり、複数の防災士の配置を目指し養成を行う。

### 空き家バンクについて

**議員** 空き家バンクの取組は。協働のまちづくり課長

空き家の有効活用を行うため、平成19年度から移住検討者住居探しを支援し、空き家の登録制度等に取り組んでいる。

**議員** バンク登録数は。また、利用者は。

**協働のまちづくり課長** 平成30年度で54件の登録。平成29年度の契約が23件で59人移住している。

**議員** バンク利用の利点は。利用者は。

**協働のまちづくり課長** 改修費、家財処分引越費等の補助があり平成29年度は86世帯263人に対して交付した。

### 農業振興について

**議員** 薬用植物試験栽培の現状と今後の見通しは。

**農林課長** カワラヨモギ、キキョウ等は順調に生育しており、無事出荷となれば栽培を農家レベルまで広げる。

**市長** 生薬協会も市の取組に高評価をしており、納税支援もいたたくようになっていいる。是非成功させたい。

**議員** ブランドまでいなくても市の特産品を選定し栽培推進しては。

**農林課長** 農業生産活動を通じ所得を確保できるよう販売戦略の構築に努める。

**議員** 小規模（高齢家庭菜園）農家の集出荷支援は。

**農林課長** 栽培基本事項の研修等を行い、住民自治協等と協力し支援できればと思っている。

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



とみく せいいち  
富来 征一議員

### 水田畑地化と農業企業参入について

**議員** 推進の方法はどの様にするのか。

**農林課長** 水田畑地化については、杵築市の耕地面積約36000haに対する田の面積は約27000haと7割を超え、水稲作付面積は水田の約47%、1260haである。県全体でも41%で九州平均の31%、米への依存度の高い営農形態である。水田のフル活用により所得向上、高収益作物の導入、水稲の低コスト化など水田農業の構造改革の必要性がある。この政策が水田の畑地化である。

**議員** 生産物は何種類考えているか。

**農林課長** 補助事業を活用すると戦略品目を中心に考えるが、マーケットの状況をみながら品目を検討する。市内に埋もれた品目、オリジナルな品目がよいと思う。会議の中では20種類弱の意見があり、具体的にはイチゴ、かぼす、小ネギ、スナップエンドウ、なす、キャベツ、ホオズキ、ニンニク、ヤマジノギクなどが挙げられた。

**議員** 生産にあたり施設等が必要になったが、どの様な補助事業

があるのか。

**農林課長** 畑地化ということに特化しての施設整備の補助事業はない。以前からある園芸作物の導入、圃場の排水対策として補助事業がある。また、「活力あふれる園芸産地整備事業」、排水対策として「農地耕作条件整備事業」等の補助事業がある。

**議員** 水田への企業参入として50ha、60haが必要と言われているが、話ができれば用地の対応ができるか。

**農林課長** 企業の農業参入ではコメ、果樹（キウイ、オリーブ、ユズ、野菜）などの打診がある。当市の耕作放棄地もかなり増加しており耕地面積約3600haのうち約900haを占めている。耕作放棄地を利用するのが一番の得策と思う。

**議員** 畑地化、企業参入に早く対応できるように担当の係が必要ではないか。また、よい事業は希望する市町村も多く、より早い対応が必要と思われるが。

**農林課長** 企業参入で言うところには企業スピード感は早いものがある。より早い対応が求められるが、市の職員の数も限られている。当市の将来にとって有益なものには積極的に取り組むことが必要であり、企業誘致として商工観光課、耕作放棄地解消として農業委員会・財政課など庁内の横断的対応をしていきたい。



このまさはる  
河野 正治議員

### ドローンを活用した事業の取り組みについて

**議員** ドローン推進県大分と言われているが市の考えは。

**商工観光課長** 市においてもドローンを活用したまちづくりを計画している。ドローン操縦者の育成や交流イベントの開催、運用方法の開発等の研究開発する拠点づくりなどを考えている。

**議員** ドローンを活用した事業を行う企業を誘致する考えはないか。

**商工観光課長** 一般社団法人日本ドローン協会が市に事業所設置を希望している。誘致に向けた協議をしているところである。

**議員** 小学校跡地利用として誘致できないか。

**商工観光課長** 日本ドローン協会から小学校跡地の一部に入居したいとの要望書の提出があった。

### 住民自治協議会の組織の強化と活動支援について

**議員** 市と住民自治協との関係は。

**協働のまちづくり課長** 自治協議会・市・地域団体などが対等に協力し合う関係にある。

**議員** 自治協と区長会との関係は。

**協働のまちづくり課長** 行政区は自治協の中核となり、その運営の意思決定を中心的に担っていく組織の一つである。

**議員** 自治協交付金を役員報酬として使用できないか。

**協働のまちづくり課長** 新年度を目標に交付金の使途の見直しを検討する。

### 旧上小学校区コースのスクー ルバスの運行について

**議員** 上地区のスクールバスの運行を2台体制にできないか。

**教育総務課長** 保護者と協議し、必要性・緊急性が判断されれば迅速に対応していきたい。

## 総務常任委員会行政視察

秋田県五城目町・羽後町（9月25日～27日）

五城目町は高齢化が進み働き手の少ない中、廃校舎の跡地利用について姉妹提携を結んでいる東京都千代田区のアドバイスで校舎をレンタルオフィスとして貸し出した。2千万円をかけて校舎を改修し、平成25年に五城目町地域活性化支援センターを開設した。地域活性化支援センターは起業やコミュニティ活動の支援を目的としており、旧教室1室（全11室）を月2万円で貸している。現在、ベンチャー企業や個人オフィスなどが入居しており、20年間企業進出のなかった町に12社が進出し16人の雇用が生まれている。本市の廃校舎利活用に参加となる事例であり、検討すべきと感じた。



羽後町では本市でも計画している道の駅について視察を行った。道の駅「うご端縫いの郷」は平成25年に就任した安藤町長が、「交流人口を増やし、外貨を稼ぐことが活性化への道」という思いから賛否両論がある中、建設を決めた。年間売り上げが約3億円、平成28年のオープン以降増加している。小坂駅長は「道の駅が目的地となるよう豊かな品揃え、小さな感動をモットーに、地域との連携を深めワクワク感を演出できる道の駅にしたい。そして生産者（出品者）に利益還元、職員の待遇向上にも努めていきたい」と話していた。杵築市に相応しい道の駅建設を語りながら帰路に着いた。

## 議会運営委員会行政視察

滋賀県野洲市・近江八幡市（7月30日～31日）



野洲市議会は平成22年9月に議会基本条例を制定し、議会報告会・出前懇談会・議会懇談会の開催、一問一答制・反問権の導入、議員政策立案研修会の開催などに取り組んでいる。委員より議会運営に関する多くの質問が出されたが、特に議会報告会では本市同様、年々参加者が減少し形骸化しているとのことで、本市でも新たな対策を検討しなければならないと感じた。

近江八幡市議会の議員間討議は、はテーマを決めての討議ではなく、議案に対する討議であって、本市議会と異なる運営方法で実施しており今後の議会運営の参考になった。大規模災害発生時の議会の行動マニュアル化については、いつ起こるかわからない災害時に備え、今後本市議会でも策定する必要があると感じた。

また、国外12都市、国内3自治体と姉妹都市、文化交流提携都市、夫婦都市、友好都市などを締結し、積極的に交流を行っている。災害協定も国内10自治体と結んでおり、それらの効果についても説明をいただいた。

## 国東半島3市議会議員合同研修会

8月24日、本市にて国東半島3市(豊後高田市・国東市・杵築市)の議員が一堂に会し、研修会を開催いたしました。この研修会は議員の政策形成能力の向上、国東半島3市間の連携・親交を深める目的で開催され、本年は3市より42名の参加がありました。

本市の中山田昭徳議長による挨拶の後、日本文理大学人間力育成センター長 高見大介氏による演題「我々はいかにして非日常(災害時)と向き合うべきか」のもと、およそ1時間30分の講演をいただきました。近年の自然災害の変容と関係性、災害発生時の行政・議会の果す役割、災害ボランティアなどについて多くの実例を用いてご講演されました。

また、講演会に引き続いて行われた意見交換会では講師にもご出席いただき、懇親を深めることができました。



## 議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案番号	議案等名	結果	表決数 賛成: 反対	議員名(議席番号順)																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
				小野 義美	阿部 素也	田原 祐二	泥谷 修	堀 典義	田中 正治	二宮 健太郎	藤本 治郎	岩尾 育郎	阿部 長夫	加来 喬	渡辺 雄爾	河野 正治	小春 稔	富来 征一	真砂 矩男	有田 昭二	中山田 昭徳
議案第65号	平成29年度杵築市一般会計歳入歳出決算認定	認定	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
議案第77号	平成30年度杵築市一般会計補正予算(第4号)	可決	16対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		

○[賛成] ×[反対] 欠[欠席] 一[退席] 議長は除く

## 平成30年 第4回定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

12月5日(水) 開会

12月10日(月) 一般質問

12月11日(火) 一般質問・議案質疑

12月12日(水) 一般質問予備日

12月13日(木) 産業建設常任委員会

12月14日(金) 厚生文教常任委員会

12月17日(月) 総務常任委員会

12月19日(水) 閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映されます。

前号に引き続き、今回も最初に特集記事を組みました。まちづくりや地域の賑わいの創出に取り組み若い団体の代表者の方々の意見交換会を行いました。

どの団体も地域を代表するイベントなどを主体となつてけん引しており、誇りと自負を持つての活動は、聞いていて清々しさを覚えました。

一昔前、杵築市にも青年団という団体がありました。あまり娯楽もない時代、若者が地域に根差した活動を行っていました。意見交換会でお話を聞きながら思い出しました。八幡奈多宮で、大晦日の夜から元日にかけて境内で餅つきを行い、「縁起もち」として参拝客に振る舞い、当時の恒例行事として賑わっていたことを。いつの時代にも、若い人たちの情熱は地域に活力を与えるものだと思います。

いろいろな場面で絆の大切さが言われる反面、年々地域のつながりが薄れていくような気がします。是非若い人たちの活動が、今後とも地域の潤滑油としての役割をも果たして頂くよう期待しています。みんなで応援します。

広報広聴委員会 泥谷 修

編集後記